



ふりがな		奨学金給与事項	※奨学金	準備金	円	写真貼付欄
氏名	男・女	奨学金給与事項	準備金	月額	円	
(西暦) 年 月 日生 (満 才)		奨学金給与事項	期間	(西暦) 年 月から		
		奨学金給与事項	期間	(西暦) 年 月迄		
現住所	(〒 - ) 自宅・下宿・間借・学寮					
	携帯電話 - - 固定電話 - -					
日本国内連絡先 (留学中)	(〒 - )					
	(ふりがな) 氏名 (申請者との関係: )					
	携帯電話 - - 固定電話 - -					
E-mailアドレス					E-mailアドレス (確認のため再度記入)	
本籍	(都・道・府・県)					
在学学校	学校・学部名			編・入学年月	卒業予定年月	休学月数
	所在地			年 月	年 月	年 ヶ月
	加入クラブ			(西暦)	(西暦)	
家族構成	続柄	氏名	生年月日	年令	職業及び卒業・在学学校名	奨学生か否か
	父					
	母					
	本人					
主たる家計支持者	氏名	勤務先職種		前職 (無職又は失職中のとき)		
	俸給	事業	その他職業( )	資産状況	負債状況	
	年収税込 (賞与諸手当その他を含む)	業種	年収 (税込) 円	現金預金 円	住宅資金借入 円	
	円	年売上高	円 (明細)	有価証券 円	その他借入 円	
最平均一カ月の費	収入合計	家庭から	円	支出合計	食費 円	授業料 円
	円	アルバイト	円	円	住居費 円	学校納金 円
		他の奨学金	円		交通費 円	その他 円
		その他	円		書籍学用品 円	
①授業料や学校納金は各々「年額÷12」の額を記入すること ②自宅通学者は家庭に入れる金額を食費欄に記入すること						
決定番号	受付番号	判定	理事長	理事	事務局	
※	※	※	※	※	※	※

①※印は記入しないこと ②勤務先・職種は具体的に記入すること  
 ③添付書類：写真、主たる家計支持者の源泉徴収票又は市町村民税課税証明書

(この欄は医師が記入のこと)

健康診断個人票	健康診断日	年 月 日	聴	右		注射年月日		赤沈	年月日		
	身長		力	左		反応		血降	30分値		
	体重		耳	疾		判定		球度	1時間値		
	胸 囲		鼻及び咽喉			X線検査所見	間 接 撮 影	直 接 撮 影			
	感覚器・呼吸器		歯	う	処 置	撮影年月日 フィルム番号		撮影年月日 フィルム番号			
	循環器・消化器			歯	未処置						
	神経系 其他		牙	その他の		総合判定	判 定	就 学	可	要 注 意	不 可
	の 所 見			病 名							
	視 右		既往症	発 病		年 月 日	(西暦)	医 師	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	力 左			治 ゆ							
色 神		労働大臣の指定する検査			判定	就学	可	要 注 意	不 可	年 月 日	
眼 疾		その他の検査									
備 考											

現在の学習状況

.....

.....

.....

.....

現在の学生生活の状況 (クラブ活動やボランティアを含む)	本人の履歴 (中学校入学以降)	年 月	中学校入学
		年 月	
		年 月	
		年 月	
		年 月	
		年 月	
		年 月	
		年 月	

単に学歴のみでなく、休学・退学・身上の異動等も理由を付して漏れなく記入のこと。

以上の記入事項は事実と相違ありません。  
 阪和育英会奨学生として採用の上、奨学金の給与を受けたく私ども連署してお願い申し上げます。  
 なお採用の上は奨学生として本分を尽すことはもとより、海外留学に関する諸規程を遵守しここに連帯して責任を負うことを誓約いたします。

年 月 日 本人 印

(西暦)

公益財団法人 阪和育英会 殿 連帯保証人 印

記入注意事項	1. 就学判定の可・要注意・不可の判定はX線検査を行った医師がすること。	連帯保証人	氏 名	続柄
	2. 就学判定の注意の判定を与えたる者に対する今後の指導注意を備考欄に記入すること。		生年月日 (西暦)	年 月 日生
	3. 連帯保証人はなるべく父母が望ましい。		現住所	
			本籍	



推薦事由 (その他参考事項)

表記の者は上記の事由により貴会の奨学生として適当と認めここに推薦致します。

年 月 日

(西暦)

学校長

(推薦者)

公益財団法人 阪和育英会 殿

印

記載上の注意

1. 成績は次の基準に従い記入すること。
  - A. 大学3年生以上の者は大学入学後の成績を記入。
  - B. 大学1・2年生以下の者は大学入学後の成績と高校3年間の成績を記入。
2. 概評・席次その他各所見欄は推薦者になるべく詳しく記入すること。
3. 成績の記入については、現/前・在学学校の成績とも各々の成績表提出をもって省略することができる。
4. 以上の諸欄に適切な記入のないものは判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。



(留学の期待出来る効果)

(留学、卒業後の進路希望／将来の夢)

(自己PR)